



銀盤にきたる新風いま氷都に

氷都新時代！八戸国体

第75回大会 TEAM FUKUOKA NEWS



福岡県選手団サポートニュース

R2.2.1 (土)

Vol.4

見事優勝！フィギュアスケート成年女子！

2月1日(土)三沢アイスアリーナで行われたフィギュアスケート成年女子。姉の比奈選手が総合で3位、妹の仁奈選手が総合で5位となり、ペアの合計点により見事優勝を果たした。SP(ショートプログラム)で勢いをつけた竹野姉妹。仁奈選手のFS(フリースケーティング)は最終組の21番目。「姉がいたので心強かった。」と本人も満足の演技を披露。その後、演技した比奈選手は「妹が良い演技をしたので、頑張ろうという思いが増した。」と、堂々3位入賞。お互いを高め合い、気遣う姉妹の固い絆で見事優勝した姉妹は、「来年の国体も二人で出場し、優勝を狙いたい。」と二連覇への意欲を語った。次の国体でも姉妹ペアの最高の笑顔に期待したい。



竹野比奈選手・竹野仁奈選手

ショートトラック始まる！少年男子1000m2位

入賞！

2月1日(土)三沢アイスアリーナでスケート競技のショートトラックが始まった。少年男子1000mにおいて垣波武蔵選手(博多中学校)が堂々とした滑りを見せ2位入賞を果たした。「準々決勝、準決勝までは良い滑りができたが、決勝は少し遠慮してしまった。1位は狙えました。」と悔しい表情を見せたが、中学生ながら2位入賞は見事である。「まだ成長できる」と上を見続けるジュニアアスリートの今後に楽しみだ。また、成年男子5000mリレー、成年女子3000mリレーにおいても決勝進出を果たしている。明日まで続くショートトラック。まだまだTEAM FUKUOKAは暴れてくれそうだ。



垣波武蔵選手

アイスホッケー少年男子8位入賞！

ふくちアイスアリーナにて栃木県を相手に7,8位順位決定戦が行われた。結果は1-12で栃木県に軍配が上がる。試合後、主将の吉次俊選手が「4試合を振り返るとなかなか良い試合ができなかった。1点が本当に遠かったが、最後1点を獲得することができてよかった。来年につながる一点だと思ふ。来年こそは、後輩達がやってくれると思います。」とコメント。橋田コーチは「残り1分のタイムアウトで、チームで1点を取りに行くことを確認し、気持ちを高めた。それが最後の1点につながった。」とコメント。橋田コーチは最後に、ベスト8に入った選手を労うとともに、来年に向けTEAM FUKUOKAとしてワンチームで戦うことの大切さを選手たちに伝えた。



アイスホッケー少年男子